

壁を越える！ 限界を越える！ 自分を越える！

独学サポート塾【BEYOND】

合格体験記

0～2時間だった1日の勉強量が10時間超え！
センター本番でA判定*をとり、本命の国立大学に堂々合格

※ センターリサーチ（河合塾・駿台・東進のすべて）でA判定を獲得

氏名：田辺さん（女性・19歳）

学年：1浪

入塾時期：8月

入塾時の状態：

「頑張れない自分を変えたい」という思いで入塾。

1日の勉強時間は0～2時間。

全科目平均の偏差値は45。

菅原 合格おめでとうございます！

田辺 ありがとうございます！

菅原 本命の国立大学一本に絞って、一発勝負で合格できたのは素晴らしいですね！合格して2週間が経ちましたが、今はどんな気分ですか？

田辺 さっき大学から「寮の申請が通りました」という電話がきて、ようやく実感が湧いてきました。パソコンで合格発表をみたときは、全然実感が湧かなくて……。あれ？これ私の番号かな？という感じでした（笑）両親もあっさりしてたというか。

菅原 そうなんですか？

田辺 たぶん私のリアクションが小さかったので、親もあれ？って感じで（笑）

菅原 たしかに、パソコンの画面を見ただけじゃ実感は湧きにくいかもしれませんね（笑）

田辺 でも少しずつ実感が湧いてきて、このあと高校時代の友達に会える機会があれば合格を直接報告したいと思ってます。

菅原 周りの友達もきっと喜んでくれると思いますよ。それでは、【BEYOND】に入ってくれたときに「現役時は全力で頑張れなかったことが悔しい」と言っていた田辺さんが、この1年間でどう変わって、どうして合格をつかめたのかということを知りたいと思います。

田辺 よろしくをお願いします！

先生に頼りづらい空気感
なんか行くの嫌だと思って、
センター直前に塾をやめました

菅原 田辺さんはどんな高校に通っていたんですか？

田辺 学校は「進学校」といってるけど、ちょっと微妙な感じですね。そこまで頭は悪くないけど、良くもない、みたいな（笑）

菅原 国立大学に絞ると、毎年何人くらい合格者が出ていましたか？

田辺 どれくらいだろう……。現役生だけで20人くらい？1学年800人弱いるので、結構少ないと思います。

菅原 たしかに少ないかもしれませんね。浪人生はどうなのでしょう？

田辺 うちの高校はあまり浪人する人が少なく、ほとんどは私立で受かったらそこで決めちゃう感じでした。

菅原 なるほど。じゃあ、浪人してるだけで少数派だし、かなり上位層じゃないと国立大学なんて狙えないわけですね。

田辺 そうだと思います。

菅原 高校に通ってる時、普段はどれくらい勉強してましたか？

田辺 高校1・2年生のときはまったく勉強してなかったです。山岳部に入って毎日練習してたんですが、体力がなかったんで、家に帰ってきたらへろへろになっちゃって玄関で寝てました（笑）

菅原 部活を毎日やってたら、勉強は大変だったでしょうね。じゃあ、受験勉強を意識して始めたのはいつ頃だったんですか？

田辺 高2の秋に塾に通い始めました。高1の冬からしていたアルバイトをしていたんですが、それで貯めたお金で出せる範囲だったので、1〜2コマを選んでやる程度でしたけど。

菅原 自分で貯めたお金で塾に行くなんてスゴイですね！

田辺 ありがとうございます（笑）でも、やっぱり料金がなくて高3になる頃に塾を変えたんですけど、新しい塾がものすごく自分に合わなくて。なんか、空気感ができあがってるというか……。

菅原 空気感？

田辺 はい。なんか、先生に頼りづらい雰囲気だったんですよね。頭が悪いから相手にされなかったというか……。何をどうやって勉強すればいいかまったく分からなかったです。なんとなく授業を受けて、あとは宿題しかやってませんでした。物足りない感じはしてたんですけど、塾をやめたら大学に受かるっていう気がしなかったんですよね。

菅原 その気持ちはよく分かります。

田辺 だから、ギリギリまでバイトをして、頑張っただけで塾の費用を出してたんです。でも、高3になったときに、高校の担任や塾の先生に「いつまでバイトしてるの？」って言われちゃって……。学校でも塾でも、自分のやってることは分かってもらえないんだなあって思っていました。塾側も、授業数を増やしてほしいと思ってたみたいで。まあ、営業が一番なので仕方ないんですが（笑）

菅原 まあ、そうかもしれませんね（笑）それで、バイトはどうしたんですか？

田辺 高3の5月にやめました。でも、塾の授業を増やす気にはなれなかったです。この塾の先生のお世話になるのもなあ……。と思うところがあって。数学と化学しか取ってなかったですね。

菅原 その塾には、いつまでいたんですか？

田辺 高3の12月ですね。センターの特訓とかもあったんですけど、なんか行くの嫌だなと思ってやめちゃったんです。

菅原 よく、センター直前のタイミングでやめる決心がつかしましたね。

田辺 あはは（笑）正直、その塾で成績が伸びたかっていうと伸びなかったです。今考えると、すごく無駄だったなあって思います（笑）

予備校に行かないと

落ちると思ってたので必死でした

でも、この生活を続けるのは無理……

菅原 現役生のときは国立大学一本に絞って、残念ながら不合格でした。それから、どうしていたんですか？

田辺 学校の信頼してた先生に「浪人するんだしたら、予備校に行かないと受からないよ」と言われて……。うちにはお金がなかったので予備校に入るには自分で出すしかないと思って、3月末からアルバイトを始めました。結構きつい職場で、4月は月に10万円くらい稼いでました。

菅原 それはスゴイですね。もう、受験生なのかフリーターなのか分からないって感じですが（笑）

田辺 そうですね（笑）バイトをしながら、予備校に通ってました。家にいると勉強できないので、勉強してる人が多い環境に身を置いたほうがいいのかなと思って。授業を受けることよりも、自習室目当てで行ってましたね。個別指導で月4回のコースで生物だけ取ってました。

菅原 なるほど。でも、それだけ働いて予備校にも行って……。という生活は大変そうですね。

田辺 バイトした後には自習室に行くっていうのを毎日やってたんですけど、翌日のバイトのことを考えると、夜遅くまで勉強するわけにはいかなくて。

菅原 たしかに、そうですね。

田辺 今振り返ると、なんか無駄だったなあって思うんですけど。でもそのときは、予備校に行かないと落ちると思ってたので必死でした。でも、ふと「この生活が続けるのは無理だな」って感じて。また、そのときに母が手術をすることが決まって、もう続けられないかと7月までにバイトも予備校もやめました。

菅原 お母さんのことも考えると、そのタイミングでやめたのは正解だったかもしれませんね。

田辺 はい。あとは、菅原さんのメルマガも大きかったです。合格するために大切なものとして「環境」の順位が低かったことが、私にとってものすごく衝撃でした。自分で環境を作っていけばいいって言われた気がして嬉しかったです（笑）あれを見て、やめる決心がついた部分もあります。

菅原 そうでしたか。予備校には悪いことをしちゃいましたね（笑）

田辺 あはは（笑）

菅原 今なら分かってくれると思いますが、環境がなくても勉強はできるようになりますよね。田辺さんが実際に体現してくれましたから。

「1対1」でサポートを受けられたのが大きかった
予備校では個別にみてもらえないので

菅原 僕のメルマガはいつ頃から購読してくれるようになったんですか？

田辺 浪人の6月からですね。母が職場の人に私が浪人することを話したときに、その相手の方から菅原さんの名前が出てきたんです。その方の息子さん浪人したときにお世話になったって。それで、母に言われて調べてみたらメルマガがあったので登録してみたんです。最初は毎朝メールが届くじゃないですか。

菅原 そうですね。

田辺 きついバイトをしてるタイミングだったので、すごく励みになりました。で、予備校をやめようかなっていう時期に偶然【BEYOND】の募集が出たんです。また、試しに応募してみようかなって思ったら、まさか選んでもらえて（笑）

菅原 田辺さんの申込内容が【BEYOND】のコンセプトにピッタリだったので、迷わず受講生として選ばせてもらったのを覚えてますね（笑）

田辺 申込む前に母に相談をして。安い受講料とはいえないけど、予備校の3分の2くらいだったので、まあ何とかかなるかなと思って入りました。

菅原 【BEYOND】が始まってからの印象はどうでした？

田辺 8月は母が入院した時期と重なるんですが、勉強以外の相談にも乗ってもらえて、正直ものすごく助かったなあって思ってます。

菅原 それは良かったです（笑）お母さんも無事に退院できて安心しました。

田辺 ありがとうございます（笑）予備校でも先生や受付の人と話す機会もあるんですけど、いろんな人と関わってるから個別にはみてもらえないんですよね。

菅原 田辺さんにとっては、やっぱり「1対1」でサポートを受けられる部分が大きかったっていうことなんでしょうね。

田辺 はい。本当に。家族にグチをいったりするわけにはいかなかったの。

三日坊主の私が、こんなに長く何かを続けられたのは初めて継続の仕方が身につきました

菅原 【BEYOND】が8月に始まって、7月までの生活と何か変わったことはありましたか？

田辺 私、日記とか3日坊主で書き続けたことがまったくなかったんですけど……。でも、【BEYOND】の勉強記録だけは毎日書いてましたね。今まで一度もサボったことはないと思うんですけど。

菅原 そうですね。毎日続けてくれましたね。

田辺 ですよ（笑）こんなに長く何かを続けたのは初めてですね。まず、1ヶ月もったじゃないですか。あれは自分でもビックリしました（笑）

菅原 続けられた秘訣って何なんでしょうね。日記と【BEYOND】の勉強報告の違いといえるのかもしれない。

田辺 うーん。やっぱり、見てもらえてるっていう安心感があるのと、自分が伝えることによって菅原さんが絶対に共感してくれるというか、分かってくれるというか。これ、本人に言うのはちょっと恥ずかしいんですけど。あはは（笑）

菅原 そう言ってもらえて嬉しいです（笑）

田辺 ちゃんとかっちが伝えようと思って書けば分かってくれるし、勉強報告は書いて悪いことがないというか、良いことしかなかったの。心の救いにもなっていましたし、書いてて楽しいっていうのもありました（笑）

菅原 それはありがたいですね。また、これは今後にも活かせる気がします。何かをするときに、1人じゃなくてうまく周りを巻き込むことで頑張っていけそうですね。

田辺 何かの続け方を覚えられたっていう実感があります。継続の仕方というか。文章の量とかにも波があって申し訳ないなって思ったりしたんですけど、「全然大丈夫ですよ」って言ってもらえたことが嬉しかったです。

菅原 誰にでも、波はあるものですからね。それを受け入れて、少しずつでも続けるのが継続のコツかなと思います。

1つずつ目標をクリアしていくのがすごく楽しかったんですよ
ゲーム感覚っていう感じがして

菅原 8月に報告を続けられたことで、勉強も絶対に続けられるようになると確信していました。その通りになってくれましたね。

田辺 はい。ありがとうございます！

菅原 1日4コマ（※1コマ：50分勉強+10分休憩）からスタートして、最終的に1日12コマ勉強できるところまでいきました。8月の勉強報告をみてみたら、最初は1コマ、2コマの日も結構ありましたよね（笑）

田辺 はい。勉強してない日もありました（笑）

菅原 そこから12コマが当たり前にできるようになりました。何が、田辺さんを変えたんだと思いますか？

田辺 浪人生なのに、最初は1日1時間も勉強してなかったじゃないですか。もう、自己嫌悪がすごくて。たくさん勉強しなくちゃって思うんですけど、いきなりうまくいくわけもなく……。それで挫折してたことが多かったんですけど、最初の目標だった「4コマ」だったらできるかなって思えたんですよね。その後、1週間に1コマずつ目標を上げていったじゃないですか。それがすごく楽しかったんですよね。ゲーム感覚っていう感じがして。

菅原 ゲーム感覚？

田辺 はい。目の前の目標を、一つひとつクリアしていく感じが。できるようになったことを報告するのっていうのも嬉しくて。そうすると、前向きにもなれるんですよね。でも、最初母に「今日は4コマでいいんだって」と話したら、「嘘でしょう？」って言われたんですけど。

菅原 まあ、普通はそう言うでしょうね。ビックリしたと思いますよ（笑）

田辺 あはは（笑）でも、菅原さんと立てた作戦だからって言ったら納得してくれました。で、目標が10コマくらいになってたときは、「あと何コマなの？」ってよく聞かれて、「1コマだよ」というと応援してくれたりして。いつの間にか、父もテレビとか気をつけてくれるようになってくれました。

菅原 それは本当にスゴイことですよ。周りの人を変えるのはとても難しいことだけど、自分が変わることによって、周りの人が自然と変わっていったなあと思います。

田辺 そうですね。気を遣ってもらえてるのはありがたかったです。それから、「今週は4コマ」と紙に書いてトイレに貼ったりしてました。達成できたら丸をつけたりとかして。あれは楽しかったです（笑）

菅原 なるほど。目に見えるようにしておくのと、達成感も味わえたりしますよね。

田辺 最初は4コマからスタートして、クリアし続ける流れができると、逆に崩したくなくなるというか、6、7コマとかになっても絶対にこの流れを崩さないようにしなくちゃって意思が働いて、どんどんできるようになってましたね。

菅原 僕のブログやメルマガを読んでいる人って「私、完璧主義なんです」っていう人が結構多くて、最初から10時間とか目指して挫折しちゃうケースが多いんですよね。それを無理のない所からスタートして、うまくゲーム感覚に持っていけると、クリアした状態を完璧にこなし続けたいというモチベーションにつながりそうですね。

確実に現役の頃と
勉強量もメンタルも違うなっていう
自信がありました

菅原 勉強量は確実に増えていったけど、夏以降は周りの受験生も実力をつけ始めてきて、模試の結果が上下にブレました。12月に受けた河合のセンタープレテストではC判定でしたね。

田辺 はい。そうでした。

菅原 でも、センター試験本番では、見事にすべての予備校のセンターリサーチでA判定という結果を出せたじゃないですか。本番で実力を出し切れた理由は何だと思いませんか？

田辺 緊張するにはしたんですけど、確実に現役の頃と勉強量もメンタルも違うなっていう自信がありました。現役のときは国語や政経なんかはほとんど勉強してなかったですし。勉強の仕方も分かってなくて、ただ問題集の答えを覚えてるだけだったと思います。今年の勉強は、ちゃんと内容を理解して勉強できてた実感がありました。

菅原 たしかに、理解することは大切ですね。

田辺 あと、前に受けたマーク模試とかセンターの過去問とか解きましたけど、前もって進め方の作戦を立てて、センターに向けてやるべきことはやったっていう自信はありました。周りの人と比べたら足りないものはあったかもしれないけど、自分の中ではできることはやれたかなっていうのがあって。それから、菅原さんの言葉で「テスト用紙が配られた時点で、自分が取れる点数は決まってる」ってあったじゃないですか。

菅原 はい。何度かお話ししてますね。

田辺 あの言葉が私の中では大きくて。だから、そのときにできるものしかできないなっていうふうに悟った感じでしたね。

菅原 良い意味で、覚悟ができたんでしょうね。

田辺 そうですね。できないものはできないなって諦めるという後ろ向きっぽいですけど、逆に、できるものはできると思えたのが大きかったです。

緊張はしてたんですけど、落ち着いて試験を解けたというか。

菅原 集中力が高まっている良い状態ですね。

田辺 センター試験が終わった後に感じたんですけど、家で解いても同じくらいの点数は出せたなって思います。それくらい、ちゃんと集中していたというか、頭が動いてたなっていう感じがしました。

菅原 センターに向けてやることはやってきたということと、用紙が配られたタイミングで取れる点数は決まってるから覚悟が決められたってことですね。

田辺 はい。それから、試験日の朝に菅原さんから頂いたメールですごく元気が出ました（笑）

菅原 それは良かったです（笑）

【BEYOND】での勉強計画は
自分の勉強ペースを
把握するところから始まった

菅原 ここまで、高校時代から受験本番までを振り返ってきました。大きなターニングポイントは、やっぱり8月の【BEYOND】が始まったタイミングといえそうですね。

田辺 そうですね。

菅原 逆に言うと、浪人の7月までは思うように勉強できなかったともいえると思います。そのときの問題点や、うまくいかなかった理由などは思いつきますか？

田辺 勉強計画をまったく立てていなかったっていうのもあるし、今思うと、問題集も適当に解くだけの「作業」になっていた気がしますね。

菅原 「作業」ですか。それは重要なキーワードかもしれませんね。さっき話してくれた、内容を理解せずに、ただ解くということだけを繰り返したということですね。

田辺 はい。そうだったと思います。もちろん、勉強量が足りてなかったっていうのもあります。計画についても、【BEYOND】では自分の勉強ペースを把握するところから始まったじゃないですか。ああいうこと、今までまったくやったことがなくて。

菅原 まあ、ほとんどの受験生はやってないでしょうね（笑）

田辺 そうですよ（笑）昔はかなり大雑把に計画を立てていたんですが、こなせたことは一度もなかったですね。

菅原 それがまた、挫折感や自己嫌悪につながっちゃうんですね。

田辺 はい。どうせやってもできないって思っていました。

菅原 計画の立て方などは、大学に行ってから勉強とか、社会に出てからの資格試験の対策にも活かせるころだと思います。

田辺 絶対に活かせると思います。【BEYOND】では「目標に向かうためのやり方」みたいなものを学べたと思っています。

菅原 「目標に向かうやり方」というのは？

田辺 目標を達成するためにやるべきことと、その順序が分かったんです。

菅原 具体的にいうと、「目標管理シート」みたいなイメージですか？

田辺 そうです。考えやすいですよ、このやり方って。目標を決めて、今の自分がどこにいて、進むペースはどれくらいでっていうふうに、これからの道筋をこんなに細かくみることはしてませんでした。

菅原 そうですね。ワークシートという形になるから、やり方が分かりやすいというものもあるのかなと思います。

田辺 【BEYOND】に入ってから、すべてが良い習慣になっているというか、確実に良い方向に向けてるんじゃないかなあって思います。

菅原 もう良い方向に進み始めてますからね。そのまま、目標に向かって頑張り続けてください！

田辺 頑張ります！（笑）

あのダメージは凄まじかったです
私立も受けたほうが良かったけど
そうできる状況じゃなかったの

菅原 改めて受験生だった自分を振り返ってみて、受験全体で特に困ったこととかスランプを感じた時期はありましたか？

田辺 うーん。模試前後のテンションのアップダウンにはすごく悩まされました。

菅原 たしかに、模試があると気持ちが揺れやすくなりますね。そのときは、どうやって乗り越えましたか？

田辺 最初は模試の結果に一喜一憂してたときもありました。でも模試って、今まで頑張ってきたものの積み重ねっていう見方もできるけど、通過点でもあるなっていうふうに思えたんですね。だから、結果を踏まえて次はここをやればいってという弱点を見つけることと、まだ伸びる余地はあるって2つの捉え方をできてからは、マイナス思考になりすぎないようにになりました。

菅原 模試の捉え方を変えてみたということですね。他に何か困ったことはありましたか？

田辺 12月に高校へ調査書を取りに行ったときに、先生から「緊張しやすいんだから、私立の道も作っておくべきだ」と言われたことですね。お金が出せないから難しいと言ったんですが、「後で自分で返せばいい。高卒で就職するつもりか？」と言われてしまいました。あのときの菅原さんのメールには本当に救われました。

菅原 そんなこともありましたね。覚えてます。

田辺 人によって、家計の状況とかは違うじゃないですか。そこまで分かってもらえない人はいるし、先生も先生なりに気遣って言ってくれたんだとは思いますが。でも、分かてもらえなかったのが悲しくて……。菅原さんから「先生も正しいことを言ってるのかもしれないけど、田辺さんの考えも正しい。だから、無理に先生に合わせる必要はない」って言ってもらえたときに、考え方に絶対はないって思えたんです。

菅原 あのときは12月というのもあって、結構ダメージもあったと思うんですけど……。

田辺 凄まじかったですね（笑）自分にできることって限られるじゃないですか。だから、私立も受けたほうがいいのかなって思ったんですけど、そうできる状況じゃなかったの。ああいうことを言われちゃうと、やっぱり不安になっちゃいますね。

菅原 ダメージはあったと思うんですけど、それを最小限で留められたっていう意味では良かったですね。

田辺 そうですね。昔だったら、完全に勉強できなくなっちゃってた気がします。

菅原 そこから1ヶ月後のセンター試験で結果を出して、最終的に、国立大学一本に絞って合格をつかんだわけですから本当に良かったです。激動の3ヶ月間でしたね。

田辺 そうですね（笑）

合格に向かって頑張っている
今の自分は嫌いじゃないし、
結果がどうなっても後悔はしない

菅原 【BEYOND】を通して、田辺さんの合格を後押しできたことはとても嬉しく思います。実際に参加してみて、【BEYOND】はどのような人にオススメだと思いますか？

田辺 今の自分に満足してない人はいると思うんですけど、自分に満足してない状況から変わらなくて結構大変だし、そういう状況にいる人って味方が少ないと思うんですよ。私は菅原さんに味方になってもらったことで救われてた部分が大きかったです。

菅原 ありがとうございます。

田辺 どんなことを言ってもバカにしないというか、親身になって頂きました。だから、今の自分に満足していなかったりとか、味方が欲しい人にオススメかなと思います。

菅原 なるほど。「味方が欲しい人」ですか。

田辺 高校の先生から「両親に迷惑をかけたくないならすぐに就職すればいいんじゃない？」って言われたことがあって。今までの頑張りが足りないからその位置にいるのかもしれないけど、この人には分かってもらえないんだなって傷つくことが今まで多かったの。

菅原 同じようなケースの人はたくさんいると思います。そんな人達に【BEYOND】が手を差し伸べられたらいいなと思いますね。

田辺 変わりたくても変わり方が分からないとか、うまくできなくて悩んでる人って本当に多いと思うんですね。だから、一緒に変え方を考えて、それを教えてくれる人っていうのは本当にありがたい存在です。だから、菅原さんには感謝してもきれないです。

菅原 ありがとうございます。嬉しいです。ちなみに、今の田辺さんは自分に満足できていますか？

田辺 1年前と比べたら考え方が良い方へ変わったなって思います。今の自分、そんなに嫌いじゃないです。自分でいうのはあれですけど（笑）

菅原 好きな自分でいられて、自分のことを信じられるようになったら、これから先、いろんなことにチャレンジしていけるはずですよ。そんな田辺

さんへ変わったことは、もしかしたら合格したこと以上に大きいといえるかもしれませんね。今後にも、必ず活かせると思います。

田辺 そういえば、これは12月に母にボソッと話したことなんですけど。それまでに勉強量を増やすことができ、去年と比べて受験生になれたっていう実感があったんですね。母に「合格に向かって頑張っている自分のことが嫌いじゃないし、受験の結果がどうなっても後悔はしないよ」って話したときに、ものすごく喜ばれたのを覚えてます。

菅原 それはとても嬉しいでしょうね。今、僕が聞いても嬉しいですから（笑）

自分の好きなことを活かしつつ、
人の役にも立てるような仕事を
大学生のうちに探せたらいいな

菅原 ここからは、将来について聞かせてください。これから大学生になりますが、大学生になったらしたいことはありますか？

田辺 私がこの大学を選んだ理由の1つに、みんな和気あいあいとしていて、自分の大学がすごく好きって言ってくれる人が多いことがあったんですよ。高校生のときは、みんなが和気あいあいとしてる様子を遠くから眺めていたようなところがあって（笑）だから、大学に入ったらそういうことに自分から率先して参加したいなっていうふうに思ってます。「青春やり直すぞ！」じゃないですけど（笑）

菅原 おお！それは良いですね（笑）

田辺 大学に入ってみないと分かりませんが、もしあれば生徒会みたいなものに入って、自分で何か物事を動かすというか、そういうことをしてみたいですね。あと、受験生を応援する活動をしている部活があつて、そこに入ろうと思つてます。

菅原 それは田辺さんに向けてそうですね！

田辺 本当ですか？（笑）菅原さんを見て、人をサポートできるようなことをしてみたいなつて思うようになって。だから、自分の好きなことを活かしつつ、人の役にも立てるような仕事を大学生でいるうちに探せたらいいなつてというのが、今の一番大きな目標です。目標を探すのが目標、みたいな（笑）

頑張ることを好きになってほしい
報われないときもあるけれど、
絶対に無駄にはならないと思うから

菅原 最後に、これから受験に立ち向かう後輩たちに向けて、何かメッセージをもらえますか？

田辺 「変わらない」つて思わないでほしいです。自分ができていないのは、自分のせいだけじゃなくて、絶対に解決の糸口があると思います。だから諦めないでほしい。味方になってくれる人はゼロじゃないと思うから、視野を広げていってほしいですね。

菅原 なるほど。

田辺 頑張ることを好きになってほしいなつていうのはすごくあります。報われないこともあるかもしれないけど、頑張らないとできないこともあるし、絶対に無駄じゃないと思うから。

菅原 田辺さん自身が、なかなか変わらない状態から実際になつていって、頑張ることを好きになつてくれた。楽しむことができた。それが、まさしく今のメッセージに凝縮されていますね。

田辺 はい。伝わつたら嬉しいです。

菅原 今日はとても濃いお話を、本当にありがとうございました！

田辺 こちらこそ、ありがとうございました。

菅原 大学に行つてからも、ぜひ頑張つてくださいね！

田辺 はい。これからもメルマガを読み続けるので、菅原さんも頑張つてください！菅原さんだから受講生みんながついてくると思うので！つて、すみません。上から目線で（笑）

菅原 合格したんだから、上から目線でいいですよ（笑）これからもよろしくお祈いします！

田辺 こちらこそ、よろしくお祈いします！

※ 個人情報保護の観点から、体験記に登場する団体名・個人名は実名を出すことは控え、すべて仮名とさせていただきます。ご容赦ください。

◆ 独学サポート塾【BEYOND】の特徴

1. 完全少人数制で一人ひとりに合わせたサポートを実現！
2. 3ヶ月で「夢を叶える力」を身につける集中指導！
3. サポート継続率89%の高い満足度！

◆ 受講生の声

マーク模試で、第一志望の大学の
受験予定者の中で1位を取れました！

早起きなんて無理だと思っていましたが、
今は毎日、朝から頑張れています。

模試の点数が
100点以上も伸びました！

自宅浪人生にとって、
他の人と話せる機会は貴重ですね

勉強報告へのコメントが
毎日の励みになりました！

私が現役生のときに、
【BEYOND】があれば良かったのに

今後の人生を変える
おおきなきっかけになりました！

前は勉強から逃げていましたが、
合格したい気持ちが強くなりました！

模擬面接の対策をしてもらったおかげで、
AO入試で第一志望に合格しました！

◆ 独学サポート塾【BEYOND】の詳細は、こちらをご覧ください

<http://beyond-myself.net/beyond-intro/>

不明な点などがございましたら、info@beyond-myself.net までご連絡ください。